

滋賀県立守山高等学校 SGH講演

1. 日時 : 平成 28 年 9 月 15 日 (木) 7 限
2. 講演者 : 立命館大学国際関係学部国際関係学科 宮口貴彰准教授
3. 講演テーマ : グローバル人材とは
4. 対象生徒 : 高校 1 年生
5. 講演概要 :

「『何を成し遂げたか』ではなく、『何を成し遂げようとしたのか』の方が大事」

9月15日(木)の7時間目、立命館大学国際関係学部国際関係学科宮口貴彰(みやぐち たかあき)准教授による講演が、高校1年生を対象に行われました。

宮口先生は、アメリカのミシガン大学アナーバー校を皮切りに、イギリスやドイツの大学への交換留学、そして国連開発計画(UNDP)気候変動担当官としてのインドネシアでの勤務等のご経験があり、文字通りの「グローバル人材」と言えます。

先生は開口一番、ご自分の高校時代、そして今に至る道に進まれたきっかけをお話になりました。高校時代、ご自分はあくまで「普通の生徒」だったが、ふとしたきっかけでアメリカへ渡ってから、チャレンジ精神が生まれ、現地の大学に進学・卒業、その後大いに道が開けてきた体験を、ユーモアを交えての語り口で、熱く語られました。

ご自分の人生経験から、

「『何を成し遂げたか』ではなく、『何を成し遂げようとしたのか』の方が大事」

「偶然なんてない！」

「志は大きければ大きいほど良いんだ！」

「好きなこと=嫌いじゃないこと」

「イメージせよ！」「好奇心を持て！」「ポジティブに考えろ！」

「自分はラッキーだと常に思え！」

私たちを勇気づける、畳みかけるような言葉の嵐に、思わず聞き入っていました。そして、ただ「聞き入る」だけでなく、たとえ小さなことからでも、何かを実行に移すことの大切さを、ひしひしと学ぶことができました。

講演終了後も、文字通り「熱くなった」何名かの生徒が、質問やもっと話を聴きたいために、先生のもとへ殺到、体育館は、なかなか涼しくなりませんでした。

